



獄中からの福音

シリーズ～コロサイの信徒へ～

2014/1/19

迫害者から宣教者へ

- キリストとの劇的な出会いにより変えられたパウロ
 - 「この道」の者を捕らえるために赴いたダマスコで
- ダマスコで殺されそうになったパウロはエルサレムへ
 - バルナバの執り成しで弟子たちの仲間に加えられる
- エルサレムでも殺されそうになり、タルソスに戻る
- バルナバに連れ出され、アンティオキアに行く
 - アンティオキア教会で丸一年教える
- 聖霊のお告げにより、バルナバとパウロは宣教の旅に出かける

宣教者から囚人へ

- 3度の宣教旅行で小アジア～ギリシャに福音を伝える
 - イエスをキリストと信じる人たちの群れ(教会)が生まれる
- エルサレムで捕らえられる(使徒21章)
 - 宣教した地域から来たユダヤ人らのデマにより
- **暗殺計画**がローマの千人隊長の耳に入り,カイサリアに移される
 - カイサリアで2年間監禁される
- 皇帝に上訴したため,ローマに移送される
 - ローマで2年間軟禁状態となる

地圖 24



獄中からの手紙

「わたしパウロが、自分の手で挨拶を記します。
わたしが捕らわれの身であることを、心に留めてください。」4:18

- 誕生した教会で様々な問題が起こりパウロに伝わる
 - 混乱する情報／教科書(聖書)不在
 - 地域の問題
 - 間違った教え(律法重視・グノーシス)
 - 「人間の言い伝えにすぎない哲学、つまり、むなしいだまし事によって人のとりこにされないように気をつけなさい。」12:8
- 捕らわれの身であっても手紙によって教え諭す

パウロの逆転人生

迫害者

宣教者

捕らえる

捕らわれる

命を奪う

命を狙われ
る

キリストとの
出会い

捕らえられることさえも

「兄弟たち、わたしの身に起こったことが、かえって福音の前進に役立ったと知ってほしい。つまり、わたしが監禁されているのはキリストのためであると、兵営全体、その他のすべての人々に知れ渡り、主に結ばれた兄弟たちの中で多くの者が、わたしの捕らわれているのを見て確信を得、恐れることなくますます勇敢に、御言葉を語るようになったのです。」

<フィリピ1:12~14>

「コロサイにいる聖なる者たち、キリストに結ばれている忠実な兄弟たちへ。わたしたちの父である神からの恵みと平和が、あなたがたにあるように。」1:2